

第488号 (令和8年1月18日)

◎第531回例会

日時：令和8年1月18日(日) 午後1時～
場所：岡山県医師会館 三木記念ホール
講師：広島大学大学院医系科学研究科 産科婦人科学教室
教授 山口 建 先生
演題：「医師としての志を考える 一産婦人科医の立場から」

症例報告

「異なる測定原理を用いて測定したトキソプラズマ IgG・IgM 抗体価の
比較：トキソプラズマ初感染妊婦の2例」
岡山医療センター 宗定 優紘 先生

◎第532回例会予告

日時：令和8年3月15日(日) 午後1時～(予定)
場所：岡山県医師会館 三木記念ホール
講師：川崎医科大学 産婦人科学教室 主任教授 下屋 浩一郎 先生
演題：「産婦人科診療(とくに周産期医療)の課題とこれから」
～岡山県産婦人科医会の先生方への感謝を込めて～

◎保険だより

- 1) 子宮内胎児死亡の妊婦に対するプレグランディン膣錠の使用について
妊娠中期の使用が適応とされています。妊娠21週6日までの使用は可能ですが、
妊娠22週0日以降は保険適応外ですのでよろしくお願い致します。
- 2) 子宮体癌患者に MPA(メドロキシプロゲステロン酢酸エステル)使用した際の
悪性腫瘍特定疾患管理料の算定について
MPA は悪性腫瘍特定疾患管理料の算定可能薬剤ではないため、同管理料の算定
はできませんのでよろしくお願い致します。

- 3) 子宮筋腫核出術等における術中出血量を少なくする目的でのピトレシン使用に
ついて
これまでは算定できませんでしたが、令和7年2月より算定可能となりました。
しかし適応外使用ですので患者様への術前の説明と同意、注意事項や禁忌事項を
よくお確かめの上慎重なご使用をよろしくお願いいたします。
- 4) バルトリン腺膿瘍に対するバルトリン腺膿瘍穿刺術について
適応となるバルトリン腺膿瘍の大きさは、治療の対象となる新生児頭血腫の大き
さ以上が想定されています。新生児頭血腫よりも小さい時は"創処置(100m2)"での
算定をお願いいたします。
- 5) ル・エストロジェルの1回処方量の上限に関して
第475号(R5.11.19)保険だよりにより上限160gと記しておりますが、1パック80gで
90日分処方となると162gであり160gを超えます。したがって1回処方量の上
限を240gに変更します。ただし次回処方日は4か月以上あけてください。毎回
処方量が240gというのは過剰とみなします。お知らせいたします。

◎妊産婦死亡例調査について

「妊産婦死亡例登録、調査」(妊産婦死亡とは妊娠の期間及び部位に関係なく、妊娠
またはその管理に関連した、あるいはそれらによって悪化したすべての原因による
妊娠中または分娩後42日以内における女性の死亡をいいます。)
死亡例発生の都度、速やかに岡山県産婦人科医会までご連絡下さいますようお願い申
し上げます。

◎おぎゃー献金について

プラスチック製のピンクの献金箱を用意しています。ご希望の方は当支部へお申し込
み下さい。
かねてよりご協力願っております「おぎゃー献金」の入金には直接持参して下さるか、
便利な郵便局の振込用紙をご利用下さい。(小銭の振り込みに手数料がかかりますので、
できれば、まとめて紙幣での振り込みにご協力下さい。)
(振込用紙、献金袋、受領証並びに感謝シールは当支部にございます。)